

旬

Vol.5

とれたて、“旬”なカルビーニュース!



Contents

ごあいさつ/Top Message 1

**カルビーを世界のブランドへ。
海外事業の拡大に全力で取り組んでいます。**

Calbee News カルビー商品が受賞ラッシュ! 3

Calbee News 新商品のご案内 4

特集 カルビーがブランド力調査で大躍進! 5

Hello New World! 7

CSR通信 vol.5 8

企業情報 9

New Shop Report 裏表紙



掘りだそう、自然の力。

Calbee

ごあいさつ

2011年3月11日の上場から2年、この間、当社グループは、「顧客・取引先から、次に従業員とその家族から、そしてコミュニティから、最後に株主から尊敬され、賞賛され、そして愛される会社になる」のビジョンのもと、事業活動をすすめてまいりました。

しかし、昨年11月に「堅あげポテト」におきまして、ガラス片混入という事故を発生させ、対象製品の自主回収をいたしました。お客様、株主様をはじめ関係者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。今後はさらに、品質・安全性を最優先し、再発防止に向けた取り組みを徹底してまいります。

今後とも、いっそうのご支援ご指導をいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

カルビー株式会社

Top Message [トップメッセージ]

カルビーのイノベーション(成長戦略)

カルビーを世界のブランドへ。 海外事業の拡大に全力で取り組んでいます。

継続的成長と高収益体質の 実現に向けて

カルビーグループでは、イノベーション(成長戦略)とコスト・リダクションを経営の二本柱として、「継続的成長と高収益体質実現」に向けた事業活動を行ってまいりました。

食品業界を取り巻く環境では、国内人口の減少や少子高齢化、可処分所得の低下による消費低迷など厳しい状況が続いています。このような環境の中で、中長期の成長を図るためには海外事業の拡大が必須であると考えています。

2012年度は、中国で「カルビー(杭州)食品有限公司」を設立しました。現地パートナーの康師傅(カンシーフ)、伊藤忠商事との合併で、2013年4月より「Jagabee」や「かっぱえびせん」の出荷を開始しています。2017年度までに、営業利益率10%を目指します。

また、北米においても事業を拡大しています。日本でも人気商品のさやえんどう「SNAPEA CRISPS」は、赤豆などの新アイテムを加え、「HARVEST SNAPS」シリーズとして計6品に増強。CostcoやWal-Martでの販売拡大や新規チャンネルの開拓も行い、引き続き販売を強化していきます。

さらに本年5月からは、カルビーノースアメリカ社で生産した北米向けJagabee「Ruffles® CRISPY FRIES」の販売を開始しました。販売とマーケティング活動は、北米で強力な販売網を持つペプシコグループが独占的に行います。

世界にはばたくカルビーへ

今まで、カルビーは日本国内では大きなシェアを誇りながらも、海外での販売は、北米ではカリフォルニア、アジアでは香港とタイがほとんどでした。現在では、韓国を皮切りに台湾や中国で販売を開始、そしてインドネシアでも事業開始に向けて合併会社を設立しました。現在の海外売上比率は5%。次のステージに向けて、今後はロシアやヨーロッパをはじめ、オーストラリアやフィリピン、マレーシア、ベトナムにも市場を広げていきます。海外売上比率30%以上を目指して、これからも一層のスピードと競争力を持って展開をすすめてまいります。

代表取締役会長 兼 CEO

松本 晃

経営の二本柱

継続的成長と高収益体質の実現

コスト・リダクション

原材料費の低減
生産の効率化
及び
稼働率の向上

イノベーション (成長戦略)

海外事業の拡大	新製品開発
国内シェア拡大	ペプシコとの連携強化
L&A	新規事業開発

※L&A(ライセンス契約と事業買収)

売上高・営業利益の推移

■ 売上高 □ 営業利益



当期の業績について

国内シェアを伸ばし、コスト・リダクションで4期連続最高益を更新しました。

売上、利益とも大幅な増加を達成しました

当期のグループ売上高は1,794億円(前期比9.9%増)、営業利益157億円(前期比28.9%増)となり、過去最高益を更新しました。海外事業の拡大に向けた取り組みをはじめ、国内事業においても、ポテトチップスの積極的な販売や新製品「ベジップス」の全国展開により市場シェアを向上、また、シリアル食品「フルグラ」においては、積極的なPRやプロモーション活動により認知度が高まり、大幅な売上アップとなりました。さらに、集中購買や工場稼働率の向上などにより製造原価率を低減し、コスト・リダクションをすすめました。

連結当期純利益は、94億円となりました。「堅あげポテト」の自主回収ともなう損失3億7千万円を計上しています。

お客様とのコミュニケーションを大切に

新規事業開発においては、お客様とのダイレクト・コミュニケーションの場となるアンテナショップ「カルビープラス」を展開してきました。今後も常に新しいメッセージを発信し続け、新製品や地域限定品のPRを行い、企業イメージの向上をはかっていきます。

さらに、アメリカ・シカゴ生まれの老舗ポップコーン・ブランド「ギャレット ポップコーン ショップス」の日本第1号店を2013年2月に原宿にオープン、4月には2号店も展開し、これまでに多くのお客様に足を運んでいただきました。

また、企業のブランド力調査「ブランド・ジャパン2013」において、一般消費者が選ぶB to C市場編で総合8位、食品企業で1位という評価をいただきました。

これからもお客様とのコミュニケーションを大切にしていきたいと考えています。

さらなる販売拡大をねらいます

2013年度も、引き続きイノベーション(成長戦略)とコスト・リダクションを経営の二本柱に事業活動を進め、グループ売上高1,900億円、営業利益180億円を目指します。

海外事業においては、販売費を積極的に投下し販売拡大を行います。また、国内事業においては、「ベジップス」や「フルグラ」のさらなる販売拡大を強化します。また、引き続き、コスト・リダクションをすすめ、すべてのお客様に魅力的で値ごろ感のある製品・サービスを提供してまいります。

さらなる成長に向けて、今後もスピード感を持って継続的成長と高収益体質の実現を目指します。

代表取締役社長 兼 COO

伊藤 秀二



カルビー商品が受賞ラッシュ！

この1年、カルビーグループの活動や商品がさまざまな賞をいただきました。うれしい受賞のいくつかをご紹介します。

マザーズセクション大賞を受賞!!

(ベストフード部門)

1才からのかっぱえびせん

子育て中のママたちが“便利な・元気になる・癒される・子育てに役立った”などの基準で選ぶマザーズセクション大賞。「塩気がないので赤ちゃんにも安心」「油を使ってなくて、子供の一口サイズなのが良い」などの理由で「1才からのかっぱえびせん」が受賞しました！

Check!
ママに
“選ばれる理由”

薄味・油不使用の口どけのよい1才のお子様向けのかっぱえびせん

薄味で油を一切使用せず、天然えびが丸ごと入ってカルシウムたっぷり。スティックタイプの形状はそのままに、1才のお子様に食べやすいよう一口サイズで成形しました。食べきりサイズで小分けに便利なカレンダータイプです。健康を気づかう大人の方にもおすすめです。

この商品が広くママたちから受容された証のようで、心から嬉しく思います。今年は発売10周年、これからも安全・安心な商品をお届けします。

ますだ みほ
増田 美穂
マーケティング本部
スナック事業部



食品ヒット大賞 優秀 ヒット賞

ベジップス

第31回食品ヒット大賞において、「優秀ヒット賞」(菓子・パン部門)を受賞。この賞は、日本食糧新聞社が前年度の食品業界においてもっともヒットした製品から選考し、表彰するもの。市場活性化や需要創造への貢献、販売増加への寄与等が評価されました。



JPM賞

被災地支援の ホワイトラベルプロジェクト

東日本大震災で被害にあった子供たちのために、被災地支援専用パッケージ商品1袋につき1円を寄付する「ホワイトラベルプロジェクト」。JPM(日本プロモーション・マーケティング協会)の「ベスト・プロモーション・クリエイティブ賞」と「審査員特別賞」を受賞しました。



モンドセレクション 4年連続 金賞

マイク・ ポップコーン バターしょうゆ味

モンドセレクションは、食品分野を中心とした製品の技術水準を審査する組織。毎年70カ国強の国から1,500以上の製品がエントリーし、衛生・味覚・包装・原材料などの項目で審査されます。マイク・ポップコーンの金賞受賞は4年連続。世界に認められた味と品質をぜひご賞味ください。



20周年記念限定の新テイスト登場！

堅あげポテト 梅にんにく味

発売予定

コンビニ:7/29

スーパー:8/12

噛むほどうまい！「堅あげポテト」から梅にんにく味が新登場。北海道での期間限定発売から数えて20周年を迎えた「堅あげポテト」の記念限定商品です。

厚切りじゃがいもを低温でじっくり丁寧にフライする“直火釜揚げ製法”によって作り出された「堅あげポテト」。梅にんにく味は、カリカリとした堅あげポテトの食感と梅のほどよい酸味とにんにくの旨みで、“すっぱ旨いおいしさ”に仕上げました。暑い夏のお酒のおつまみにピッタリです。



発売20周年記念！

明治神宮球場(東京都新宿区)恒例の大人気イベント

「生ビール半額ナイター」(7月12日)に協賛します。

来場者先着3万名に「堅あげポテト」うすしお味のサンプルを配布して、生ビールとの相性の良さを味わっていただきます。始球式にはものまねで人気のキンタロー。さんが登場。さらに、打上げ花火やスーパーカラービジョンで「堅あげポテト」をアピールします。

お・と・な じゃがりこ レモン&ペッパー



おとな好みの味付けでお酒にピッタリの「お・と・な じゃがりこ」から「レモン&ペッパー」が登場。レモンの風味がじゃがいものおいしさを引き立て、ペッパーのキレのある辛みが後を引く夏にピッタリのじゃがりこです。

発売予定

コンビニ:7/15

スーパー:7/22

ポテトチップス 鉄板やきとり味

発売予定

コンビニ:7/22

スーパー:7/29



全国各地で地域の味を販売しているカルビーの「ポテトチップス」。7月には愛媛県今治(いまばり)市で話題のゆるキャラ「バリィさん[®]」とのコラボ商品ポテトチップス「鉄板やきとり味」が期間限定で登場！バリィさん[®]の地元、今治の名物が「鉄板やきとり」。鉄板で香ばしく焼いたとり皮に甘辛いしょうゆダレをからめた、後引く味わいです。

「バリィさん[®]」
のイラストが
目印！

クリアファイルプレゼント

株主様の日頃のご支援に感謝して「ポテトチップス お国自慢まつり」のオリジナルクリアファイルをプレゼントいたします。(当冊子と同封しております。)



クリアファイル
(表)

クリアファイル
(裏)

特集

「ブランド・ジャパン2013」で大躍進

カルビーがブランド力調査で食品企業トップに



日経BPブランドジャパン
カルビーのブランドランキング推移



出典：日経BPコンサルティング「ブランド・ジャパン」より

強いブランド力は、企業価値の源泉。カルビーはこのほど発表された企業のブランド力調査「ブランド・ジャパン2013」において、一般消費者が選ぶBtoC市場編で総合力が昨年の19位から8位にランクアップ、食品企業でトップに輝きました。マーケティング企画部 松本知之部長にカルビーのブランド価値向上の取り組みについて聞いてみました。

“親しみ”で圧倒的な高い支持

一般消費者が選ぶBtoC市場編の調査は、「フレンドリー（親しみ）」「イノベティブ(革新)」「アウトスタンディング(卓越)」「コンビニエント(便利)」の4つの項目で競われます。

カルビーが強みを発揮したのは、「フレンドリー(親しみ)」。「親しみを感じる」「好きである、気に入っている」「なくなると寂しい」「共感する、フィーリングが合う」などのイメージ項目があり、カルビーは2年連続で全ブランド中トップとなりました。

そして、他の項目でも大きくランクアップを達成。その結果、総合力8位、食品企業のトップに輝きました。

カルビーは、2011年から、さまざまな社内プロ

ジェクト活動を開始し、その中のひとつとして「カルビーブランド戦略プロジェクト」をスタートしました。部署をこえたメンバーが集まり、目指すべきブランドの方向性を探りました。その結果、お客様との「フレンドシップ(友情)」を中心価値とすることを掲げました。その後の活動が「フレンドリー(親しみ)」項目のランクをおしあげたひとつの原動力となったと思います。

数年前、伊藤社長から『ブランド・ジャパン』の上位ランキング入りを目指せ、という指示がありました。当時は、この大きな課題をどのように達成していくべきか、かなりプレッシャーを感じました。今の気持ちは、名だたる食品メーカーを差し置いて…というのが正直な感想です。身に余るというか、でき過ぎかもしれません(笑)。

「ブランド・ジャパン」とは 日経BPコンサルティングが2001年から行ってきた日本最大のブランド評価調査プロジェクト。一般消費者と仕事を持つビジネスパーソンへのWEBを使ったアンケート調査で、企業や商品延べ1,500ブランドを評価する。今回の調査期間は2012年11月～2013年1月。一般消費者向けBtoC市場の回答数は35,507サンプル。

掘りだそう、自然の力。

Calbee**「掘りだそう、自然の力。」**

2006年に制定されたコーポレートメッセージ「掘りだそう、自然の力。」振りかえってみると、このコーポレートメッセージが私たちの意識を変えていくきっかけになったと思います。そこでは「自然の恵みが食にもたらす可能性を考え、追求し、カタチにし続ける」とうたっています。一人ひとりが自分たちの企業の社会的な使命を再認識し、企業価値を自覚し始めました。

そして、2011年3月の株式上場。上場企業としての責任を自覚し、従業員の意識も内から外に向けられていきました。

そのような中、“おいしさと楽しさ”をカルビーの中心価値に据え、商品の見直しや広告宣伝・販売促進キャンペーンの統一感づくりが進んでいきました。

そうした取り組みの中から「ありのまま」「素材のまま」を形にした商品も登場します。たとえば、野菜そのままをスナックにした「ベジップス」。また、1991年に発売した「フルグラ」は昨年から大ブレイク。

カルビーといえばスナック菓子ですが、フルグラは朝食に摂るお客様がメイン。ベジップスは40～50代のヘルシー志向の高い女性のお客様がファンになってくれました。

お客様との接点が広がる

東京や沖縄など、現在では全国6店舗に拡大しているアンテナショップ「カルビープラス」も知名度と人気の広がりに貢献しました。これまで店舗の運営に取り組んだ経験がなかっただけに、新しい消費者とのふれ合いが、今回のブランド調査にも跳ね返った可能性があります。

**カルビーをグローバルブランドへ！
Interbrand社ランキングに初登場**

世界最大のブランドコンサルティング会社、Interbrand社によるブランドランキング「Japan's Best Domestic Brands 2013*」において、カルビーはスナックフーズのグローバルブランド化を目指す姿勢等が評価され、29位に初めてランクインしました。*(海外売上高比率30%未満)



自然な甘さの
ドライフルーツをミックスした
「フルグラ」



野菜そのままの味の
「ベジップス」

ふり返ってみると、2009年～2010年頃は、企業としてお客様へのコミュニケーション活動がやや停滞していた時期だったと思います。

その影響かどうかは分かりませんが、2011年のブランド・ジャパンランキングでは、カルビーの強みである「フレンドリー」が11位に大きく落ちこんでいます。

昨年より、女優・剛力彩芽さんを企業の顔として起用し、「ポテトチップス」そして「カルビーSMILE大収穫祭2012キャンペーン」のメッセンジャーとして活躍していただきました。「ポテトチップス」のコマーシャルには、原料となるじゃがいもをつくっていただいている北海道のじゃがいも農家の皆さんも共演、「親しみやすさ」をアピールしました。

「カルビーSMILE大収穫祭2012キャンペーン」では、じゃがいも3kgなどをお客様10万人にプレゼントするとうたったところ、大きな反響をいただきました。

各部署が始めたプロジェクトが回り始め、ようやく歯車が噛みあってきた気がします。

これからも応援をよろしくお願いします。

P R O F I L E**松本 知之**

(まつもと・ともゆき)

マーケティング企画部 部長

入社後、名古屋で営業とマーケティングを担当。その後、本場でポテトチップスの商品企画を担当。2011年から現在のポジションに。



Hello New World!

世界に広がるカルビーグループの活動をご紹介します。

カルビー(杭州)食品有限公司が中国で始動

中国



中国でカルビー製品を製造・販売するカルビー(杭州)食品有限公司が開業式を行いました。同社は、カルビー、現地パートナーの康師傅(カンシーフ)、伊藤忠商事の3社が出資する現地合併企業。中国浙江省杭州市の経済開発区内に設立された第一工場では、経済成長著しい中国沿岸部の市場をにらみカルビーの中国向け製品の製造を開始しました。3月22日に行われた現地の開業式には、松本会長や伊藤社長が出席し、パートナー企業の康師傅や伊藤忠商事、現地政府の関係者らとともに、総勢100名余りの従業員らと盛大に開業式を祝いました。

「かっぱえびせん」「Jagabee」など7アイテムを展開

中国市場を開拓する“第一フェーズ”の旗頭は、「Jagabee」3アイテムと、「かっぱえびせん」「サッポロポテトバーベQあじ」などの小麦系スナック4アイテム。4月10日に出荷を開始しました。味付けは、現地消費者の嗜好に合わせて展開し、中国市場でも“沢山のお客様に愛される、ナンバーワンのスナックメーカー”を目指します。



CHINA

JAPAN

USA

北米

北米でJagabeeがデビュー!

北米版Jagabee「Ruffles® CRISPY FRIES」の販売を5月20日から開始しました。製品は、カルビーノースアメリカ社で製造し、販売はペプシグループで行います。カルビーの製品開発力とペプシグループの販売力、マーケティング力で、北米のお客様にアピールしていきます。

小売価格は1.09ドル、初年度の売上目標は12百万ドルです。





森林保護活動

北海道「カルビー・ミナミナの森」、滋賀県「かっぱ恵みの森」、愛知県「あいち海上の森」を中心に、日光市足尾や福岡市油山でも活動を行ってきました。植樹をはじめ、間伐作業や側溝の土砂あげなどの整備活動をしています。

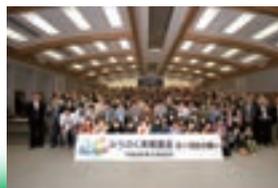


復興支援活動

2012年度も継続して復興支援活動を行ってきました。

親をなくした子どもを支援する基金「みちのく未来基金」は、2011年10月の設立以来、これまでに多くの企業、団体、個人の方々、また株主様からもご寄付をいただきました。あらためて御礼申し上げます。現在では、第1期生に加え、第2期生122名の進学を支援しています。

従業員参加の復興支援ボランティアツアーも活動を続けており、次回は6月末に実施します。また、屋外で遊ぶことのできない福島県の子ども達を支援する活動や、石巻市やいわき市でもボランティア活動を行ってきました。従業員が自ら活動に参加することで、一人ひとりが復興支援について考えていきます。



平成24年度省エネ大賞 (省エネ事例部門)

「省エネルギーセンター会長賞」を受賞しました

「省エネ大賞」は、省エネルギーセンターが主催する、国内の企業・自治体・教育機関等における優れた省エネ活動や、省エネ性に優れた製品及びビジネスモデル等を表彰する賞です。2012年度は164件の応募の中から、学識経験者等からなる審査委員会による厳正な審査の結果、新宇都宮工場が「廃水処理設備における熱回収型ヒートポンプ導入による省エネルギー」で、「省エネルギーセンター会長賞」を受賞しました。

ヒートポンプとは・・・

これまで捨てられていた処理水の未利用熱を回収し、蒸気に代わって工場廃水を加温するエネルギー技術です。ボイラーから供給される蒸気を削減すると同時に、蒸気配管の放熱等も削減します。CO₂削減や省エネ効果とともに、河川に放流する処理水の温度が下がり環境負荷低減にもつながっています。食品工場としては、全国初の取り組みとなります。



みちのく未来基金へのお問い合わせ

TEL 022-343-9996

E-mail info@michinoku-mirai.org

ホームページ <http://michinoku-mirai.org/>

カルビーグループでは各地域の社会貢献委員が先頭にたち、積極的に社会貢献活動をすすめています。また、2009年に発足した環境対策部を中心にCO₂削減や省資源活動に取り組んでいます。詳細は同封の「社会・環境報告書」をご覧ください。



主要連結経営指標 (単位: 百万円)

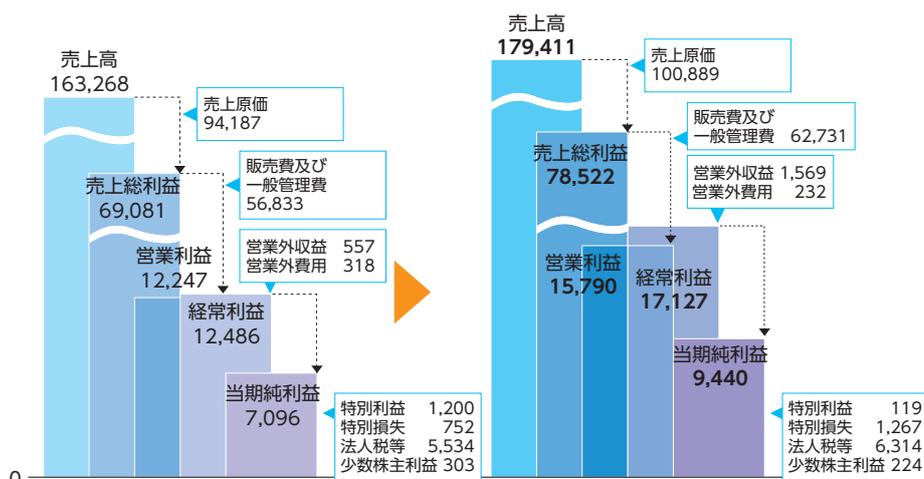
<http://www.calbee.co.jp/ir/>

カルビー IR

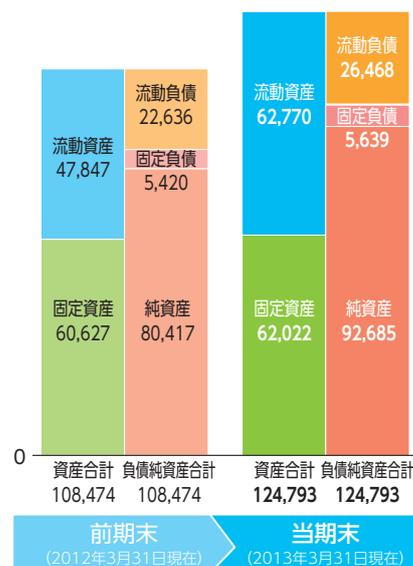
検索

	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期(予想)
売上高	155,529	163,268	179,411	190,000
営業利益	10,717	12,247	15,790	18,000
経常利益	10,570	12,486	17,127	18,000
当期純利益	4,253	7,096	9,440	10,400
1株当たり当期純利益 (単位: 円)	146.48	220.29	288.73	315.75
総資産	99,393	108,474	124,793	—
純資産	72,924	80,417	92,685	—
1株当たり純資産 (単位: 円)	2,200.55	2,386.63	2,658.22	—
自己資本比率 (単位: %)	70.7	71.6	70.2	—
自己資本当期純利益率(ROE) (単位: %)	6.5	9.6	11.4	—
総資産経常利益率(ROA) (単位: %)	11.0	12.0	14.7	—

連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)



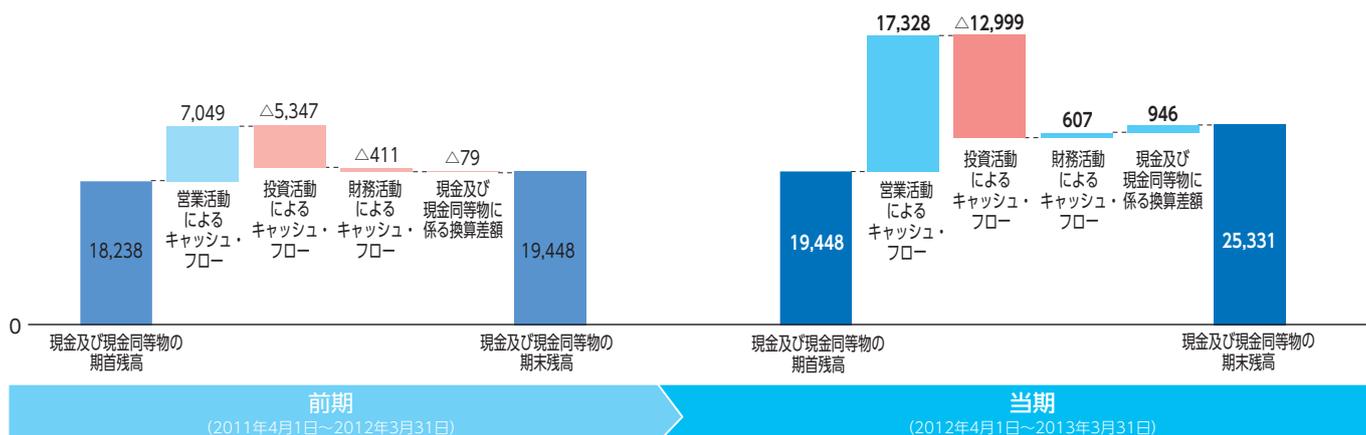
連結貸借対照表の概要 (単位: 百万円)



前期 (2011年4月1日～2012年3月31日) 当期 (2012年4月1日～2013年3月31日)

前期末 (2012年3月31日現在) 当期末 (2013年3月31日現在)

連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位: 百万円)



会社情報 株式情報 (2013年3月31日現在)

会社概要

社名 カルビー株式会社
 本社所在地 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-3
 丸の内トラストタワー本館22階
 設立 1949年4月30日
 従業員数 1,519名(連結3,352名)
 ※臨時従業員は含んでおりません。

役員 (2013年6月26日現在)

代表取締役会長 松本 晃 * 常勤監査役 石田 正
 代表取締役社長 伊藤 秀二 常勤監査役 平川 功
 ※ 取締役 茂木 友三郎 * 監査役 稲葉 陽二
 ※ 取締役 喜岡 浩二 * 監査役 谷津 朋美
 ※ 取締役 一條 和生
 ※ 取締役 ユームラン・ベバ
 ※ 取締役 魏^{ウェイ} 宏^{ホン} 名^{ミン} ※社外取締役 * 社外監査役

株式の状況

発行可能株式総数 44,000,000株
 発行済株式の総数 32,937,450株
 株主数 5,772名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
FRITO-LAY GLOBAL INVESTMENTS B.V.	6,700	20.34
一般社団法人幹の会	6,480	19.68
カルビー従業員持株会	1,053	3.20
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	771	2.34
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	686	2.08

所有者別分布状況



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月開催
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 (郵便物送付先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 (電話照会先) 0120-232-711 (通話料無料)
 特別口座の
 口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
 (電話照会先) 0120-176-417 (通話料無料)
 公告方法 電子公告により行います。
 (下記の当社ホームページに掲載いたします。)
<http://www.calbee.co.jp/>
 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告が
 できない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

Information

個人投資家様向けページが充実！より親しみやすく。

カルビーのIRサイトが リニューアルしました！

個人投資家様のためのページがさらに充実！より親しみを持っていただけるようリニューアルしました。
 カルビーの想いをわかりやすくお伝えする9のキーワードも登場します。
 是非遊びにきてくださいね！



「IR情報」トップページ



「個人投資家のみなさまへ」トップページ

<http://www.calbee.co.jp/ir/>

カルビー IR 検索

New Shop

Report

新店舗のご紹介

Calbee PLUS

カルビープラス 東京ソラマチ店オープン!

5月21日、東京スカイツリー®に新名所が誕生!

揚げたてポテトチップスで大人気のアンテナショップ「カルビープラス」6店舗目となる『カルビープラス 東京ソラマチ店』がオープンしました。

いま話題の東京スカイツリー®の商業施設「東京ソラマチ」の中にあります。「かつて江戸の町に見られた商家「大店(おおだな)」」をテーマにしたフロアにあわせて、店舗外観や内装は“和”のイメージにこだわりました。東京スカイツリー®を訪れる世界中のお客様に、カルビーの商品やサービスを通じて日本の良さを発信していきます!



東京ソラマチ店限定
揚げたてポテトチップス 七味あじ

カルビープラス 東京ソラマチ店
東京都墨田区押上1-1-2
東京スカイツリータウン・ソラマチ4F
営業時間 10:00~21:00(不定休)

ギャレット ポップコーン ショップス 日本2号店オープン!

シカゴ生まれのポップコーン・ショップに人気集中

「ギャレット ポップコーン ショップス 酒々井プレミアム・アウトレット店」が4月19日にランドオープン。連日大行列の人気店となっています。同店では、日本初となる2ガロン缶(数量限定/お1人さま1缶まで)が話題。オーダーする時に、3種のフレーバーを組み合わせたカスタマイズオーダーも可能です。



日本第1号店の原宿店は、2013年2月の開業から2カ月で約3万人の方にお越しいただきました。まだお試しでない方も原宿、酒々井にお越しの際は是非お立ち寄りください!



2ガロン缶が日本初登場

ギャレット ポップコーン ショップス
酒々井プレミアム・アウトレット店
千葉県印旛郡酒々井町飯積689
酒々井プレミアム・アウトレット内
営業時間 10:00~20:00

コーンスナックのリーディングカンパニー
ジャパンフリトレー株式会社



人気のアウトレットモールで
ひときわにぎわうオープン初日



カルビー株式会社

<http://www.calbee.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。